



# 建交労

2021年11月30日 No.14

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2021年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

## 2022年中央春闘討論集会108名参加 特別報告5名、全体討論の発言28名

11月27日（土）～28日（日）の日程で、2022年中央春闘討論集会を群馬県安中市のホテル磯部ガーデンにて、リモート併用で開催しました。31県本部から108名（リモート参加34名）が参加しました。角田季代子中央執行委員長は開会あいさつを兼ねた問題提起をおこない、「建交労の底力を発揮した春闘と組織建設」を提起し、組合員の実態から出発した賃上げ要求の設定と具体的なとりくみとして、トラック・学童が実施してい



問題提起をおこなう角田委員長



全労連・黒澤幸一事務局長

る制度・政策闘争の推進を紹介し、全国一律最賃制度と最賃1,500円以上の実現と連動した2022年春闘を展開しようと参加者に呼びかけました。組織化についても、ダンプ・軽貨物の経験や学童、事業団、トラックの各部会で作成した宣伝物の紹介やとりくみに触れ、知恵を出し合い新しいことにチャレンジしようと話しました。

廣瀬書記長が春闘方針第一次案及び統一要求基準案の報告をおこない、休憩をはさんで全労連黒澤幸一事務局長から「国民春闘共闘第一次案」にもとづいた22春闘をめぐる情勢と闘いの方向性について学習しました。

その後「トラック、学童、北海道本部、大阪府本部、軽貨物」について県本部・業種部会から特別報告をおこない、全体討論は2日間で21名（リモート7名）が発言しました。森谷副委員長の閉会あいさつ、団結がんばろうで集会を終えました。